



南浦和たいよう保育園
(見沼田んぼ)

みらい

2012.8
夏号

⑦

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

会長あいさつ…P2

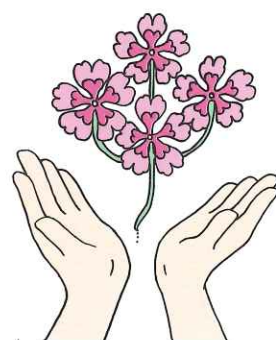
平成24年度総会を開催・

関東ブロック「子ども・子育て新システム」を考える1000人研修会…P3

「子ども・子育て新システム」について思う…P4・5

子育てパパ 1日保育士体験…P6 わくわくがいっぱい!・編集後記…P7

保育園紹介・昭和に認可された保育園・新会員紹介…P8



子ども・子育て支援法案 このままでは良いのだろうか

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 会長 剣持 浩

昔、ある研究会でスウェーデン、ドイツ、イギリスの技術教育と幼児教育の視察に行ったことです。イギリスのバーミンガムのオープンエアミュージアムを見学する機会を得ました。バーミンガムは産業革命の発祥の地で、鉄の生産が始まりそのための石炭採掘が行われてきた。坑道があり、説明文に「狭い坑道に入れるのは小さな子どもたちや婦女子であった」とあり、18世紀の技術では坑道の崩れを防ぐために、天井を低くして採掘せざるを得ませんでした。紡績工場では5歳児や8歳前後の子どもたちが朝早くから夜遅くまで働かされていたことが記されていました。私はこれを読んで大変ショックを受けました。当時のイギリス議会で子どもたちの労働実態が証言として報告されています。朝3時4時から夜の10時11時まで働かされました。ロバートオーエンはこうした子どもたちの悲惨な状況を目の当たりにして、労働条件の改善と幼児教育の必要性を提唱しその後の社会に大きな影響を与えました。私たちの手元にある子どもの権利条約や児童福祉法、児童憲章はこうした歴史の賜です。保育園や幼稚園は子ども時代を健やかに育つようつくられてきた大事な制度です。子どもたちが置かれている社

会的経済的背景に左右されることなく、より良い環境と教育を保障するために築かれてきました。

時代が変わり、保育が「サービス」になり保護者の「多様なニーズ」に合わせて保育制度を見直すことになりました。「子どもは社会の希望であり、未来をつくる力である」(2月13日「子ども・子育て新システムに関する基本制度のとりまとめ」として「すべての子どもが尊重され、その育ちが等しく確実に保障されるよう取り組みなければならない」と高らかにうたいました。しかし、新システムを読めば読むほどその目的に沿わない疑問が広がります。今国会に提出されたものはそのまま通るはず



もなく、地方の保育団体の強力な働きかけで「総合子ども園法」は廃案、株式会社参入も認めず、児童福祉法の24条の市町村の実施義務は変えることをせず、「子ども・子育て支援法」(案)が衆議院で可決されました。私たち地方の保育団体の、これまでになかった結束と、市町村の「新

システムに反対する議決」の広がり、法学家や研究者、保育関係者の声が大きなうねりとなって、法案を変えさせることになったのです。

しかし子育て支援法はよく調べていくと、例えば24条についてはそのまま市町村の実施義務は守られながらも、これまでの運営費補助を含めて認可保育園の仕組みが大きく変わるようです。認定こども園や幼稚園、保育園の財源の一本化に伴い、保育必要量(短時間と長時間の2区分)もそれに伴う給付も保護者への給付(施設型給付、地域型給付)となり、施設整備費はなくなり(減価償却費としての上乗せに変更)。24条の保

育実義務がありながら現物支給の廃止という矛盾した内容になっています。運営費という国の補助は、介護保険法と同じように利用者の利用時間、日数に応じて支給認定が行われ保護者へ給付されます(施設が代理受領)。認定こども園を充実させていくということです。契約も保育料も利用者と認定こ

ども園が直接行うのでやがては保育園にもこの方式が持ち込まれるかもしれません。このままでは「子ども・子育て新システム」の骨格は変わらないまま法律ができてしまうのではないかと、私は危惧します。

はじめにイギリスの産業革命と子どもへの処遇について述べました。私たちの先輩たちは子どもたちを労働から解放し、貧困から抜け出すために子ども時代を豊かに過ごす制度や施設を築いてきました。子どもたちの現実から出発して創り上げてきました。この輝かしい保育の歴史を壊してはなりません。「多様なニーズ」「保育サービスの拡充」「多様な事業者の参入」という名の下に、官僚と為政者の意図する「制度改革」は将来の日本を担う子どもたちの施設として発展するとは思えません。法案が国会で議決され、法律として動き出したとき、現場にいくつもの混乱と不幸と格差を広げるようなものが予想されるのであれば福祉を守る立場から黙っているわけにはいかないのです。子どもの立場、もの言わぬ子どもの視点から考えるという歴史の流れにそって、不幸な制度のならないよう考え物申すことが求められています。子どもたちの未来のために。

平成24年度総会を開催



去る5月17日、さいたま市民会館うらわに於いて、さいたま市私立保育園協会の第4回定時総会が開催されました。

ご来賓として、さいたま市長清水勇人氏、保育部より保育部長高瀬賢治氏、保育課長金子博志氏他2名、さいたま市私立幼稚園協会会長勝田寿明氏、埼玉県私立保育園連盟会長代理島村よう子氏、埼玉県私立保育園協議会会長吉田武人氏をお迎えし、70園が出席しました。

議事は中嶋副会長の司会で開会し、清水市長は「さいたま市の合計特殊出生率は1.38で、全国平均1.39

より若干少ない。親子の絆が薄らいでいる今、子育ての素晴らしさを感じられる環境作りが私の役割であると考えている。」と挨拶しました。

その後、平成23年度事業報告、収支決算書報告及び監査報告、平成24年度事業計画及び収支予算書等についての第1号議案から第5号議案が可決され、第4回定時総会は無事幕を下ろしました。

関東ブロック 「子ども・子育て新システム」を考える 1000人研修会



平成24年5月21日（月）埼玉会館大ホールに、1000名を超える参加者が集合した。第一部の保育、待機児童問題に取り組む弁護士大井 琢氏と日本保育学会理事・保育研究所所長・帝京大学教授村山祐一氏の対談は「子ども・子育て新システム」で保育園利用者や保育園がどう変わっていくかを法律の専門家として具体的に取り上げ、会場は静まりかえった。

第二部は、急遽、参議院副議長の尾辻先生も駆けつけてくださり、力強いお言葉をいただき「規制改革という名のもとに福祉の市場化を進めてはならない！」と時間をやりくりして奮闘されていることばに励まされた。

剣持会長(さいたま私保協会)佐藤会長(保育を守る全国連合)、栃木保育協議会風間会長、森田私保連会長の挨拶と表明が続き1000人研修会は終了した。



「子育ても・子育て新システム」について思う

参加した方々は、反対ののろしをあげているのは解りますが、どこが問題点で、賛成の人たちはどこに賛成しているのか、どこをどのように変えれば賛成できるのか……法案の不透明さ、厚生労働省の説明不足を痛感していました。

今回は「認定こども園」拡大の方向で落ち着いたのほっとしましたが、今後、増大する福祉予算と財源の確保は解決できない問題となつてきますので、知恵を出し合つて対処していければと考えています。

過日「新システム」について「子ども保育システムを考える1000人研修会」後話し合った内容がありますので、参考まで……

保育園を運営する立場として

A園長

多くの職員の生活を支え、今までの委託費でさえ十分とはいえず、傷んだ箇所を修理しながら無駄遣いをしないように、それでいて、子ども達には最良の環境を整え、優秀な職員を雇用し、保育所の質を上げるべき努力しています。大事な税金を使わせていただいているという気持ちはありますので、節電や節水を心掛けています。

B園長

毎月決まった委託費が入っているという安定感がなくなることは不安です。
保育園自体に制度疲労になつていくことは感じています。今は、今後の動向を見ながら、もし「新システム」が導入されたらどうしようかと、反対をしながらも、両面を持ちながら動向を見守っている状況です。

C園長

さいたま市は、保育園の整備も進み毎年たくさん認可園が増えています。

「子育てするならさいたま市」とキャッチフレーズにあるように、市をあげて子育て支援に取り組んでいると思つています。困難を抱えているご家庭には、区の支援課や保健センターと連携し、お互いに相談し、情報交換をしながら園児の保育と、保護者のサポートを行っています。今後、園と保護者の直接契約になるとしたら、園としてのように関わっていくか、障害のあるお子さんはどうするのかとても心配です。

D園長

財源の根拠が消費税値上げなので、消費税値上げ分の財源が保育所の処遇改善にどのくらい反映されるか見えてこない。ただ、待機児童対策、子育て支援、職員の処遇改善などを並べられても納得ができないと思つてしまします。

職員に説明する時も、介護法と同じになつていくのではないかと説明しています。

有料と特別養護老人ホーム、との違いという感じかな？というザックリとした説明の方が理解してもらえるのかなと考えています。説明し理解を得る責任は園長にあると思いますので、職員や保護者にも解りやすく説明ができるように、勉強をしなければと思つています。

情報も多方面から収集する必要がありますね

E園長

これからは株式会社への参入が当たり前になります。株式会社ですべて反対という訳ではありません。利益優先の中で、競争原理が重要視され利潤が上がらなければ事業を停止したり、縮小することもあり得ると考えると、福祉として50年以上も幼児教育を担ってきた、社会福祉法人が運営するのが、子ども達の最良の利益となるように思います。

F園長

「総合子ども園」のメリットが見えない。「待機児童の解消」との繋がりもよく見えない。反対意見への回答も見えない。「反対され、待機児童の解消が遠のいた」の記事も疑問だ。

職員の立場から

G保育士

全く解りません。
新システムが導入されることで、働きやすくなるのでしたら歓迎します。

H保育士

英語教室やスイミングスクールなどの特別なカリキュラムに特別料金が追加されるとしたら、それを支払えないご家庭のお子さんはどうするか。家庭の経済状況で、益々格差が広がっていくのは納得ができません。

I保育士

保護者の働き方や、保育の必要性に応じて保育時間が決まり、保育に欠けない時間は保護者が子どもをみる。と聞くとか何かつきりする気がします。

J保育士

保育園全部が変わるといふなら私たちはそれとおりにします。

K保育士

園長先生が問題視している意味が、研修会に参加してわかりました。自分の考えていたことは「幼保一元化」で「幼保一体化」と捉えていませんでした。

保護者の立場として

L保育園保護者

聞けば聞くほど不安材料が多い。
わが子は現在、アレルギーがあり代替食をお願いしていますが、それも、追加料金の対象になりそうなので、これからの位付加料金がかかるのか心配。(委託費の収入減を補てんするためには、給食費の値上げなどは仕方ないとの考え方が主流になるでしょう。)

M保育園保護者

今まで「自分たちには関係ない」と思つていた。これからもう少し勉強したい。

N保育園保護者

保育園が新しくなつて、良くなるのだと思つていました。反対の意味は知らずにいま

した。でも、説明もされていませんよね。

O保育園保護者

保育園を選べると聞いているが、入園を希望している保育園に入れる保証はどこにもない。

定員いっぱい保育園も多い。自分で探すのも不安で大変だと思う。

選べるのではなく、選ばれると言うことなのかとも思つてしまう。

直接契約はどうなの？

園によつて保育料が違うの？

正直、メリットが見えてこない

最低基準

保育士ひとりあたりの児童数は長い間変わっていません。

ひとり一人に丁寧に接していくのには児童数が多すぎます。

面積、給食室の設置などは規制緩和が進んでいます。横浜市では、待機児童削減のために保育ママなども補助の対象として数字の待機児童は減少しました。人的にも環境の不公平感は歪められません。

保育士不足

これは低賃金によるものが大きいと思います。

保育士が誇りを持って保育をするにはそれに値する待遇が必要で、福祉の名の基に安価な労働力を期待しては、次世代は育ちません。

社会全体としては、労働力は不足していないのに福祉の世界は人材不足に悩んでいます。

このままだと社会全体が疲弊していくようで、不安は募るばかりです。

問題は山積です。これから心を合わせて、子ども達の未来のために努力していければと考えています。

広報部では、皆様のご意見を募集しています。お待ちしております。

子育てパパ 1日保育士体験



先日、妙高高原での年長合宿に参加させて頂きました。今回は保育士補助としての参加でした。初めての合宿で子供達は小学校生活に必要な「自分の事は自分で出来る」を目標に荷物の管理、食事、入浴など今までの自分より少しでも成長しようと頑張る姿が特に印象的でした。父親としては息子が困っているとき、泣いているときなどにすぐに助け船を出したかったのですが、そこはぐっと我慢をして息子を見守りました。仲間と共に最後まで諦めないで頑張る息子に頼もしさを感じました。改めて子供が経験する事の大切さを見ることが出来ました。また、今回は保育士の仕事もじっくり見る事が出来ました。保育士が子供達一人一人の主張を聞き、子供の可能性を引き出そうする姿にも感心させられました。今回の体験を通して私自身、生きるための知恵「人間力」人を信じあう「信頼関係」の大切さを再認識しました。これからの子育てに活かしたいと考えています。

めだか保育園
5歳児 父

休日を一日ジャージで過ごした。なぜ、ジャージなのかというと、「動きやすい格好で来てください」と言われたもので。。下の息子の保育園に一日保育士体験をしてまいりました。当日は朝から。

園庭遊びから、マラソン。その時点で、もう39歳クタクタ。室内でお雛さま作り、再び外に出て体操の先生とつなぎ鬼&縄跳び&ドッジボール。(1分間の縄跳びは何十年ぶりでしたでしょうか。。。太ももが震えました)抱っこ・おんぶ・ひざ乗せ・肩車全部のせ！状態で、常に3~4人を抱えておりました。どこまで〜というぐらい、本気のスーパーハグです

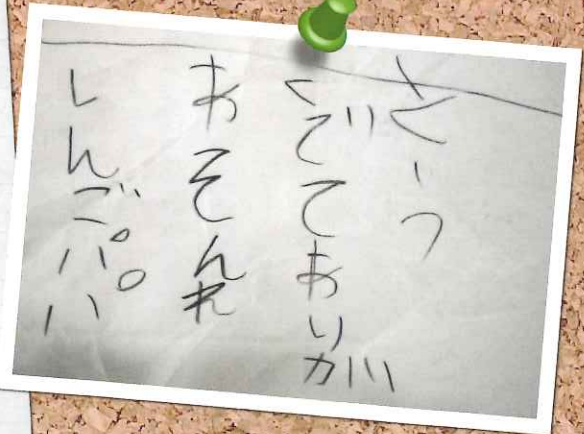
子供達から「最後までいてよ〜」「明日も来てよ〜」と嬉しい言葉も頂けます。怪我させることなく無事終わって何よりですほっ。。

さて、今回で学んだこと。他業種の経験はなかなかできる機会がないので、とても勉強になりました。危機回避や個人尊重のコミュニケーションなど体験自体、現場でないと味わえないと思うので本当に良い経験でした。

もちろんラクなお仕事はないと思いますが、保育士の皆様、スゴいですね！！待たなしで体力と注意力を払い、一人一人の健康状態までも管理、社会性の向上、さらに保護者への配慮、お遊戯会・卒入園式の準備片付けなどなど。。。考えただけでキリがないと思います。

子供達の本能で動く行動予測は、素人の私には全く不可能でした。小さな子供の安全を長時間確保しながら、さらに将来の人間性を確立する上での一番大事な時期に、社会性やコミュニケーション能力を指導してくださる先生方に頭が下がります。今後どうぞよろしくお願い致します。

プライムキッズガーデン保育所
3歳児 父



H23実績

	園数	人数
私立	22	122
公立*	62	645
幼稚園	26	193
認可外	4	21
合計	114	981

* 母親の体験も含んだ数

わくわくが いっぱい!

大宮むさしの保育園 冷水摩擦

今年から、3・4・5歳児は冷水摩擦を始めました。みんなで気持ち良く身体の汗を拭き取り、スッカリした子どもたちの様子です。



ルミエール保育園

家族ふれあいデー

毎年6月に行う家族ふれあいデー。まごと楽しく遊ぶおばあちゃん。



与野本町駅前保育所 米作り

しろかき(5月末)



田んぼに水をはって、子どもたちが泥んこになって水と土を混ぜます。初めは泥に入る事に抵抗があった子どもも、夢中になって土を踏んでいました。

稲の穂が金色に染まり、たくさんのお米をつけました。



あおぞら保育園 鯉の解体ショー



大きなお魚の解体を、初めて見る子どもも多く、驚きと共に、食べ物に感謝の気持ちを持つことができた1日でした。

かわいデイナーズリー保育園 初夏



黄色いスイカだよ!! 4月に苗を植えて、みんなで育てたスイカをおいしく頂きました。



こびとの森保育園

広報部 和田喜美

プールで楽しく遊ぶ元気な声がこだます、屋上園庭の西側に見える景色は、武蔵浦和駅まで続く高層住宅と高層ビル、子どもたちを取り巻く環境は、ずいぶん様変わりしました。

子どものころ、「道草をしないで帰りましょう」と言われた帰り道も「信号を守って帰りましょう」の約束に変わった。道草を楽しむ生活を送った時代を忘れそう。ゴムチップで整備されたきれいな公園より、木々の緑が生い茂る公園で遊ばせたい。春、コンクリートの隙間から土を盛り上げる雑草も、この頃は愛おしく思う。自然に触れる活動、体験を保育に生かし、子どもたちには自然の命を守る大切さをしっかりと伝えていきたい。

編集後記

保・育・園・紹・介



椎の実保育園

園長 新井 正治

昭和57年4月に、0歳児から5歳児を受け入れる定員60名の認可保育所として開園しました。当園はまち中の住宅街の一角にありますが、すぐ近くに、自然林に恵まれた0.9haの駒場緑地や、これに隣接する蓮昌寺の児童遊園、青少年宇宙科学館、駒場運動公園や浦和駒場体育館がある外、都市・児童公園や農業生産を行っている畑地などが多数あり、大変恵まれた環境の中にあります。

保育園ではどのクラスもよくこれらのところにお散歩や園外保育活動に出かけます。感性豊かなお遊びや宝物さがしの天才の園児達。大人の発想ではとても考えつかない感心させられる発見や宝物を持ち帰ります。いつまでも大切にしたい、残っていてほしい環境です。

3歳以上児のクラスは、楽しく頑張る「体操教室」、「音楽教室」、「英語教室」を設けています。園児一人ひとりが自分の目標に向かって、工夫しながら一生懸命に努力しています。保育園では、園児達の目標が実現するようにサポートしています。

乳幼児期は、子どもの心身の発育・発達が著しく、一人ひとりの個人差が大きいので、個々それぞれの発達の全体的な姿を把握して保育を行うため、少人数のクラス編成を行っています。

子どもからのメッセージをしっかり受けとめ、子どもの幸せのために、より一層の保育の向上に努めています。



本郷保育園

園長 程塚 陽子

北区本郷町の閑静な住宅地、樹木に囲まれ広々とした児童公園が目の前にあり、大変環境に恵まれた場所に本郷保育園はあります。

昭和53年理事長、園長の自宅を開放し、無認可保育施設「見沼乳幼児保育園」を始めました。0歳児1人からのスタートでしたが入所希望者の増加に伴い、昭和57年、社会福祉法人あゆみ会本郷保育園を開園、旧大宮市の認可園としては初めての0歳児保育を実施いたしました。その後、平成元年には本郷学童保育所を開設。平成17年には姉妹園として今羽保育園を開園しました。

平成22年には念願だった多目的ホールを建てることができました。園児のみならず子育て支援利用者、学童と幅広く活用されています。そして今年31年目をあゆみ出しました。本郷保育園は家庭的な保育をモットーとし、人生の第一歩である乳幼児期の重要性を重んじ、生活と遊びを通じて心身の発達を援助する場でありたいと思っています。

また、自然とのふれあいを大切にしております。じゃがいも掘り、さつまいも掘り等を実施することにより、失われつつある季節感を養い、旬の味覚を子どもたちに味わって欲しいと考えています。

無限の可能性を秘めた子どもたちの成長を深く見つめ、「保育」の大切さを家族と保育者みんなで考え、確かめ合い、元気で思いやりのある子に育ててほしいと願っています。

昭和に認可された保育園

許可を受ける以前からほとんどの保育園は、地域に貢献していた歴史を持っています。

大宮さくら保育園
昭和27年4月26日

聖徳保育園
昭和29年2月1日

浦和ひなどり保育園
昭和29年4月1日

たちばな保育園
昭和37年10月1日

与野ひなどり保育園
昭和37年10月1日

岩槻保育園
昭和41年5月1日

わらしべ保育園
昭和45年4月1日

エンゼル保育園
昭和48年4月1日

東武保育園
昭和49年12月1日

ひまわり乳児保育園
昭和50年5月1日

エンゼル乳幼児園
昭和51年4月1日

こぐま保育園
昭和52年4月1日

岩槻さくら保育園
昭和52年4月1日

東岩槻保育園
昭和53年4月1日

あすなろ保育園
昭和53年4月1日

白菊保育園
昭和54年4月1日

ひまわりDO・DO保育園
昭和54年4月1日

浦和乳幼児センター
昭和55年4月1日

東浦和みどり保育園
昭和56年4月1日

しらこぼと保育園
昭和56年4月1日

椎の実保育園
昭和57年4月1日

本郷保育園
昭和57年4月1日

新会員紹介

社会福祉法人 彩保育会 ういず日進駅前保育園
園長 … 新野正泰 所在地 … 〒331-0823 北区日進町2-1858

社会福祉法人 宮原ハーモニー ハーモニーえがお保育園
園長 … 島村よう子 所在地 … 〒331-0812 北区宮原町4-83-5

社会福祉法人 創人会 きらり保育園
園長 … 笠原栄希 所在地 … 〒339-0025 岩槻区釣上新田1426-1

社会福祉法人 けやき会 けやきの森芝原園
園長 … 丑木重徳 所在地 … 〒336-0917 緑区芝原1-12-2

社会福祉法人 聖彩 彩の森保育園
園長 … 和田卓樹 所在地 … 〒336-0031 南区鹿手袋6-22-28

社会福祉法人 なかよし愛育会 風渡野保育園
園長 … 伊藤元子 所在地 … 〒337-0017 見沼区風渡野695-5

社会福祉法人 一樹福祉会 大宮むさしの保育園
園長 … 三宅恵美子 所在地 … 〒331-0812 北区宮原町1-430